

はじめに

大阪府では、学校などにおいて、児童生徒、先生、保護者等を対象に、被害者遺族の方々が自らの体験や心情等を語ることを通じ、命の大切さ、かけがえのなさを考える機会を提供しています。

それが、みなさんにご参加いただく
「命の大切さを考える講演会」です。



みなさんは「犯罪被害」と聞いて、どんなことをイメージしますか？
犯人のことはニュースでたくさん報道されていますが、被害者のことはあまり報道されていないので、分からないという人もいるかもしれません。

犯罪の被害者はどんな気持ちでいるのでしょうか。
どんなことに困っているのでしょうか。

もし、身近な人が犯罪の被害に巻きこまれてしまったら？
私たちにできることはあるのでしょうか。

講演を聞いて、また、このパンフレットを読んで、
一緒に考えてみませんか？



※このパンフレットは、内閣府が作成した犯罪被害者等に関する児童・生徒向け啓発用教材「友達が被害者になったら」を参考に作成しています。犯罪被害者等についてより理解を深めたい方はこちらをご覧ください。

▶ <https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/kohyo/keihatsu/kyouzai-student/index.html>

※犯罪被害者とその家族の意識に関わる設問や調査結果は、内閣府が実施した「平成20年度犯罪被害者等に関する国民意識調査」の集計結果をもとにしています。

▶ <https://www.npa.go.jp/hanzaihigai/report/h20-2/index.html>